

リーディングDXスクール事業【実践事例】

神戸市立若草小学校

【取組内容】 なかよしカフェをひらこう

テーマ：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

本校の特別支援学級（なかよし学級）では朝の会や生活単元学習などでMicrosoft PowerPointやMicrosoft Teams(以下、Teams)、授業支援ツールを利用しています。年度当初から、Teams上でチャネルを作って児童が情報や作品を発信する場を増やしたり、学習園の観察でそれぞれの児童が観察した内容をPowerPointの共同編集で観察記録として作成したりと、端末利用の有用性を実感できる機会を設定しました。

今回の実践では、なかよしカフェ開催に向けてのメニュー検討、役割分担や作業の進行状況の把握などで学習用パソコンを活用しました。メニューの検討では、作りたいメニューやそのレシピを各自Teamsに投稿してメニュー決定の際の情報を共有しました。作業の進行状況をクラウド上のMicrosoft Excelに入力することで、それぞれの活動に応じた場を児童が自由に選択でき、必要な時に教師や友達の支援が得られるようになりました。

カフェ当日は学級閉鎖による日程と開催時間の変更がありましたが、クラウド上のデータを使って急遽ポスターを作ってチラシを配ったりするなど、児童が進んで臨機応変な対応もする姿も見られました。

それぞれの作業がどこまで進んでいるか、クラウド上で共有。

つくるもの	とりあえずできた	ぜんせい チェック (ぜんせいからのコメント)	レベルアップ	かんせい	URL
しょうたいじょう	○	ひとこといれよう！	○	○	★しょうたいじょう.pdf
メニュー	○	大きさはどうしよう？	○	○	メニューなかよし.pdf
かんばん	○	もじのいる どうかね	○	○	かんばん.pdf
ポスター	○	絵をいれてみよう	たすけて		なかよしカフェ用.pdf
かざり	○	かざりはひとついいかな？	○	○	1_かざり.pdf

クラウド上の野菜観察カード。それぞれのページを進めている様子。



予定変更に合わせて、臨機応変にポスターを作り、お客さんに配る様子

